

情報工学部 令和7年度学校推薦型選抜（推薦Ⅰ）出題範囲

適性検査の数学、理科（インターネット出願登録時に物理、化学、生物の領域から1つを選択）及び英語は、タブレットを用いた CBT (Computer Based Test) 方式による選択式問題の試験として実施します。また、面接試験においても、適性検査の数学及び理科の問題に関する口頭試問を実施します。

1 数学

以下に指定する範囲の中から出題します。

- 数学Ⅰ
- 数学Ⅱ
- 数学A
- 数学B（「数列」に限る）
- 数学C（「ベクトル」に限る）

※ 高等学校若しくは中等教育学校の職業教育を主とする学科及び総合学科の出身者については、以下の科目をもって代えることができます。ただし、この適用は、当該出身者であり、インターネット出願登録時において本学が指定する登録項目を選択した場合に限ります。

- 1) プログラミング技術【教科名：工業】
「アルゴリズム」と「プログラム技法」に限る
- 2) プログラミング【教科名：商業】
「情報システムとプログラミング」と「アルゴリズム」に限る
- 3) 情報システムのプログラミング【教科名：情報】
「データ構造とアルゴリズム」と「プログラミング」に限る
- 4) 数学Ⅰ（「データの分析」は除く）
数学A

2 物理

以下に指定する範囲の中から出題します。

- 物理基礎
- 物理（「原子」は除く）

3 化学

以下に指定する範囲の中から出題します。

- 化学基礎
- 化学（「有機化合物の性質の『高分子化合物』」は除く）

4 生物

以下に指定する範囲の中から出題します。

- 生物基礎
- 生物（「生態と環境」は除く）

5 英語

以下に指定する範囲の中から出題します。

- 英語コミュニケーションⅠ
- 英語コミュニケーションⅡ
- 論理・表現Ⅰ

※リスニング及びスピーキングは出題しません。

※ 本学が指定する英語資格・検定試験のスコアを出願時に提出した場合は、換算点と適性検査（英語）の得点を比較し、換算点の方が高い場合は、適性検査（英語）の得点を換算点に置き換えます。